

高度技術者養成講習会

LabVIEW実践集中コース1

岩手県立大学いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンターでは、ものづくりとソフトウェアを融合してものづくり現場の人材育成のために、国および県の支援を受けて、下記より高度技術者養成講習会を開催いたします。今回の講座は「LabVIEW実践集中コース」です。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

- ◆日時：7月22日（水）～24日（金）9:00～17:00
- ◆場所：岩手県立大学 地域連携棟2F システム実習室
- ◆講師：日本ナショナルインスツルメンツ(株)認定講師
- ◆定員：15名（※申込期限:7月21日）
- ◆対象：岩手県内の社会人技術者・学生
過去にi-MOSでLabVIEW講座を受講した方。
LabVIEWプログラミング経験者向き（希望者には予習教材を提供します）
- ◆内容：①LabVIEWの基本的な要素を理解しユーザインタフェースを作成する。
②プログラミングストラクチャやデータタイプを理解し、効率的なプログラミングテクニック、さまざまな編集テクニック・デバッグテクニックを学ぶ。
③データ集録デバイスやGPIB、シリアル通信について学ぶ。

受講料無料

必要事項①～⑥をご記入いただき、E-mailにてお申込み下さい。

- ①講習会名「LabVIEW実践集中コース1」
 - ②会社名・学校名 ③所属・役職 ④氏名 ⑤メールアドレス ⑥電話番号
- 申込アドレス: i-mos_kousyu@ml.iwate-pu.ac.jp
※USBメモリをご持参ください。

The screenshot displays a LabVIEW interface for signal processing. On the left, a 'Signal Simulation' block (DC with Gauss) feeds into a 'Histogram Creation' block. The histogram block outputs to a 'Histogram' chart. Below this, a 'Statistics' block calculates 'Maximum', 'Minimum', and 'Average' values, which are displayed in numeric indicators. These values are also fed into a 'Chart' block. The chart shows a time-series plot of the signal. A yellow text box on the right contains the following text: '直感的なグラフィカルプログラミング開発環境であるNational Instruments社製LabVIEWを使用してデータ集録、計測器制御にかかわる技術情報を地域企業・団体の技術者/研究者、教職員/学生に対して継続的に提供することにより地域社会の発展に貢献します'.

本年度は日本ナショナルインスツルメンツ社の協力を得て、別途「LabVIEWで学ぶ技術講習会」を共催で開催しています。画像処理、制御、通信、組込みなど幅広い技術領域にあまり苦勞も感じずに入り込めるのがLabVIEWの大きなメリットで、専門のプログラマーではなくともそれぞれの技術者が必要とする自動化や制御や解析を進めることができます。LabVIEW実践集中コース1ではこれまでの講習会では充分触れられなかったLabVIEWのプログラミング言語としての側面を講習いたします。

【問合せ先】

岩手県立大学 i-MOS事務局 上関（わせき）・谷地 畝（やちうね）
TEL: 019-694-3330 E-mail: i-mos_kousyu@ml.iwate-pu.ac.jp